

相模原市立小・中学校等 学校の情報化推進ガイドライン（令和6年度～9年度）

相模原市総合計画(令和2年度から令和9年度)

第2次相模原市 教育振興計画 令和2年度～令和9年度

基本方針Ⅰ 生涯にわたる学びの推進
目標2 新しい時代に活躍できる力の育成
施策7 情報社会で活躍できる力の育成

基本方針Ⅲ 多様な学びを支える環境の充実
目標10 学校教育環境の充実
施策32 ICT環境の充実

学校教育の情報化の推進に関する法律(令和元年法律第47号)

第八條 文部科学大臣は、学校教育の情報化の推進に関する施策の総合かつ計画的な推進を図るため、学校教育の情報化の推進に関する計画(以下「学校教育情報化推進計画」という。)を定めなければならない。
第九條 2 市町村は、学校教育情報化推進計画を基本として、その市町村の区域における学校教育の情報化の推進に関する施策についての計画を定めるよう努めなければならない。

		R6	R7	R8	R9	
施策1 情報活用能力の育成 【目標】 ○児童生徒が、持続可能な社会の構築を実現するための、プログラミング的思考等の問題解決能力を身に付けている。 ○児童生徒が、いつの時代にも誠実に情報活用を行うことのできる、情報セキュリティ・モラルに関する価値判断力を身に付けている。 ○今後の情報化社会に求められる、基本的なICT活用スキル等を身に付けている。 【成果指標】 ○プログラミング的思考等の問題解決能力 ○セキュリティ・モラルに関する知識・理解 ○情報活用能力	取組① 義務教育段階でのプログラミング教育を継続実施するとともに、モデルカリキュラムの改善を図ること、更に推進できる環境を整える。	モデルカリキュラムの改訂 各校における「学校の情報化推進計画」に基づく授業実施	モデルカリキュラムの周知/ 新たなモデルカリキュラム等に対応した教材や機器整備の検討			
	取組② 児童生徒の情報活用の実践力を育成するため、各教科等における授業事例を収集、整理し、研修や授業指導の場で周知を行う。	GIGA通信の発行、周知/GIGAスクールハンドブックの周知 情報活用能力検定の実施/各教科等横断的な学習における3DCAD等の活用推進 ICT活用標準スキル表等の見直し・実践				
	取組③ 児童生徒がデジタル・シティズンシップの意識を持ち、安全・安心に情報を活用していくことができるよう、「情報セキュリティ・モラルハンドブック」を主軸に情報セキュリティ・モラル教育を推進する。	情報セキュリティ・モラルハンドブックの周知/ネット・ハトールだよりの発行・周知 情報モラル教材の活用推進 各校における「学校の情報化推進計画」に基づく指導実施				
施策2 ICTを活用した授業改善 【目標】 ○各教科等の授業において、ICTを効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に資する授業改善が行われている。 ○効果的な研修の実施等により、教員の、授業におけるICT活用指導力が向上している。 ○教員が児童生徒のスタディ・ログ等の教育データを活用し、授業や個々の指導等の改善を図っている。 【成果指標】 ○「主体的・対話的で深い学び」に資するICT活用による授業改善状況 ○学校におけるタブレットPC活用状況 ○タブレットPC持ち帰り等によるICT活用状況 ○授業においてICTを活用して指導する能力 ○ICTに係る研修実施状況 ○データ活用による授業改善等の状況	取組① 1人1台のタブレットPCを最大限活用した教育活動の実現のため、先進的な研究・事例等の周知を行うとともに、課題に応じた重点的な学校支援を図る。また、これらの基盤となるICT環境の検討・整備を進める。	本市研究員研究の成果、GIGAスクールハンドブック追補編の周知 学校、教員のICT活用に係る学校支援 ICT環境(NW・大型提示装置等)の検討・整備/ICT支援員による学校支援/家庭等への通信環境支援 1人1台タブレットPCの更新				
	取組② 令和時代の学校で求められる、ICTを活用した授業の展開を行うため、教員のICT活用指導力の向上を目指し、効果的な研修等の充実を図る。	継続的な研修内容の見直し/学校全体でのICT活用指導力向上のための研修実施 各研修への積極的な参加が図られる環境の検討 各研修への積極的な参加が図られる環境整備				
	取組③ データに基づく個別最適化された学びや授業改善、評価等の実現を目指し、教育データの効果的な活用を図る。	基盤構築～試験運用 データに基づく授業改善等の支援 データ相互運用を考慮したシステム等の選定				
施策3 校務の情報化 【目標】 ○情報漏洩や災害に強いシステムを構築し、時間や場所に拘わらずに業務ができる環境が整っている。 ○ICTを活用した校務・研修等の効率化により、教員のワーク・ライフ・バランスが改善され、ゆとりをもって児童生徒と向き合う時間が確保されている。 【成果指標】 ○ICTを活用した校務効率化の状況 ○オンデマンド・eラーニング研修の実施状況	取組① 大規模災害時における情報資産の保護やセキュリティの向上、場所に拘われない柔軟な働き方を可能とするため、システム全体のクラウド化を推進する。	システム全体のクラウド化 校外からもセキュアにアクセスできるシステムの構築 システムの効果的な活用支援等				
	取組② ワーク・ライフ・バランスの改善を目指し、オンデマンド・eラーニング等を活用した研修の実施を推進する。	効率的な研修の在り方を検討 オンデマンド・eラーニング等を活用した研修の推進				
	取組③ 校務における汎用のクラウドツール活用推進等による校務のDX化を推進する。	校務のDX化の在り方を検討 汎用のクラウドツール等の活用による校務DX化推進 校務DX化推進担当者の配置検討/校務DX化に向けた研修実施・学校支援				